

<p>【技術の名称】 NB 構法 - デッキプレート下地乾式屋根ノンブレース構法 - (改定2)</p>	<p>性能証明番号 : GBRC 性能証明 第11-21号 改2 性能証明発効日 : 2023年11月28日</p> <p>【取得者】 日鉄建材株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

NB 構法は、鋼構造建築物および木造構造建築物の屋根構造をデッキプレート下地乾式屋根とし、支持部材とデッキプレートを鋼構造建築物の場合は焼抜き栓溶接または打込み鋸で、木造構造建築物の場合はドリリングタッピンねじで接合した場合に、全面または一部のデッキプレートが面内せん断力を負担する構法である。NB 構法は、設計・施工指針に従った範囲でデッキプレート屋根構造の面内せん断耐力および面内せん断剛性を適切に評価してフレームの構造設計ができる。

【改定の内容】

- 新規 : GBRC 性能証明 第11-21号 (2012年1月12日)
 改定1 : GBRC 性能証明 第11-21号 改1 (2022年4月5日)
- ・適用範囲に木造建築物を追加
 - ・四周固定仕様を追加
- 改定2 : GBRC 性能証明 第11-21号 改2 (2023年11月28日)
- ・鋼構造建築物の適用範囲に以下の内容を追加
 - ・デッキプレートの使用材料を追加
 - ・デッキプレートを相互に接合した仕様を追加
 - ・デッキプレートとブレースを併用する仕様を追加

【技術開発の趣旨】

鋼構造建築物の屋根構造を乾式屋根とする場合、水平ブレースを設置しブレースに面内せん断力を負担させる方法が一般的である。また、木造建築物の屋根構造では、構造用合板等を面材として木梁および受材に対して釘打ちで接合することが一般的である。本構法は、デッキプレートを乾式屋根の面材として用いると同時に面内せん断力を負担することで水平ブレースや受材の省略・釘打ち数の低減を図り、乾式屋根の材料コストの削減、施工の簡略化を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「NB 工法 設計・施工指針」に従って設計・施工されたデッキプレート屋根構造は、同指針で定める面内せん断耐力および面内せん断剛性を有する。

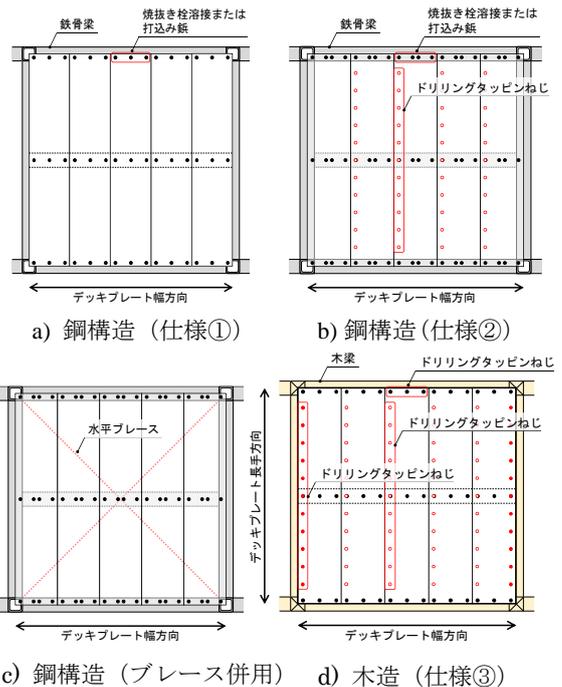


図-1 適用範囲の概要



a) 鋼構造



b) 木造

図-2 性能評価試験

【本技術の問合せ先】

日鉄建材株式会社 担当者 : 井澤 祐衣
 〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目14-1 秋葉原 UDX 13F

E-mail : yizawa@ns-kenzai.co.jp
 TEL : 03-6625-6150 FAX : 03-6625-6151